

■米国：バージニア州、揚水発電所開発のための法案可決

2017年2月13日バージニア州議会は、発電事業者が揚水発電所のコスト回収に関連する料金調整条項の承認について、州企業委員会（SCC）に申請することを許可する法案（H.B. 1760）を可決した。法案では、対象となる揚水発電所を、炭鉱跡地を利用して建設し、揚水電源の全部または一部を再生可能エネルギーとするよう特に言及しており、州として遅れていた再エネへのアプローチと、経済的に落ち込んだ州南西部の炭鉱地帯の雇用創出を見込んでいる。また、こうした鉱山跡地に揚水発電所を建設する計画は、他の州では既に始まっており、ニューヨーク州のミネヴィル鉄鉱山跡地や、カリフォルニア州のイーグルマウンテン鉄鉱山跡地にて計画が進んでいる。